

鈴木 ゆうじ ほっとライン

平成27年
初夏号
(2015.6)

発行責任者
鈴木 勇 治
☎244-7308
F 244-7310
仙台市太白区鉤取
本町1丁目 14-32

ごあいさつ

最近では景気がゆるやかに回復しつつあるといわれ、景気の各先行指標も良好な数値をあらわしております。しかし東北地方を含む地方経済は、復興事業の遅れとともに消費の伸び悩みや雇用の厳しさが残っております。

市民生活では、医療・介護などの社会保障費の上昇など、国民負担の増加が顕著になるなど景気の先行きに不安が残っていることも現実であります。

そのような中、市民の皆様から寄せられる課題・要望は山積しており、その内容も多岐にわたっております。私はこのような市民の皆様からの課題・要望については、ひとつでも多く応えられるように努力いたしていることは勿論ですが、市の財政状況を考えたとき、財政取入に見合った事業執行、いわゆる収支の均衡に合った市民サービスの提供を行うという考え方があるのも事実であります。

このような時だからこそ、ひとつひとつ市民の皆様と共に真摯に議論を十二分に重ね、理解をいただく姿勢こそが求められているといえます。

私の議員活動も五期目の最終年をむかえております。これからも『まごころ市政』をモットーに、皆さんと共に『この仙台を生活満足度の高い都市として変えていければ』と思うばかりであり、皆様には今後も更なるご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

議 会 の 動 向

平成27年第一回定例会は平成27年2月10日から3月6日まで開催されました。

平成27年度予算案や条例案など113件の議案等が提出されました。

代表質疑と一般質問では、被災者の生活再建支援をはじめとする震災復興の諸施策のほか、大きな変革を抑える教育行政の在り方や子ども・子育て支援への取り組み、協働の基本理念などを定めた条例の内容などについて、幅広い質疑が展開されました。

また、5年間の復興計画の最終年度となる平成27年度予算案を審査するため、予算等審査特別委員会を設置し、11日間にわたり真剣な質疑がなされました。

最終日には、今定例会で質疑が集中した、市民公益活動の促進に関する条例の一部改正案について、議会での議論を踏まえ、内容を精査したいとの理由から議案が撤回されることとなりました。

鈴木勇治は、会派を代表しての代表質疑と予算等審査委員会で質疑に立ちました。質疑の概略は以下のとおりであります。



(問) 人口減少と地方創生についてですが、本市では国家戦略特区を活用しきれっていない

このままでは、人口データ機能が低下する。どう対応するのか

(答弁) 奥山市長 都市の消滅というシナリ

才を回避するためには、若い世代の方々に狙いを定め、その定住を促進する施策を展開すること、中でも、雇用の

場の確保が重要と認識いたしております。

本市は、国家戦略特区の活用による雇用創出を目指しており、震災後、社会問題に取り組み起業者が増えているという本市の特質を生かし、起業者を柱とする「ソーシャル・イノベーション創生特区」を提案したところであります。関連法案の成立が遅れていることから、地区指定が進んでおりませんでした。

先般、この3月を目途にいくつかの地域に対し、指定を行うとのスケジュールが示されたところであり、人口減少社会への手立てを早期に講ずるためにも、この機会を逸することなく、地区指定へと段階を進めてまいりたいと考えており、取り組みを加速してまいりたいと考えています。

(問) 今回の青葉区選挙管理委員会の不祥事に関連し、内部統制をいかに建て直し、組織の在り方をどう変えていくのか。

(答弁) 奥山市長 コンプライアンスを確保するに当たり、組織的ナリスク管理の取り組みを継続していくことと併せて、個々の職員の意識、また、これらが積み重なって形作られる職場の雰囲気や組織風土の課題について、改めて検証する必要があります。

組織内の情報共有を密に行い、職員個人個人の担当や組織の垣根を越えて、課題の解決に向けて一体感を持って取り組むことのできる組織風土を醸成することが、職員の意欲の向上に繋がっており、ひいてはコンプライアンスの確保にも結び付けていくものと考えているところでございます。

今後、不祥事が起きた背景などの分析を進め、具体的な対応策を構築してまいります。全ての職員が当事者意識を持つことにより、自発的・自律的に規律の確保が図られる、そのような組織づくりを目指してまいります。

(問) 平成27年度からの介護報酬引き下げに伴い、特別養護老人ホームなどの整備の遅れが懸念されることがいかにとらえているか。また、市内法人の内留保はいかにとらえているのか。

(答弁) 健康福祉局長 本市所管の社会福祉法人が運営する特別養護老人ホームのうち、土地の取得や施設の建替えのため通常の運営資金とは別に積立てを行っている施設は11施設で、その総額は約3億3千万円となっており、一施設あたりの積立預金は、最大が約1億2千万円、最少が約250万円でございます。

今後、計画に定めた施設整備が円滑に進まない状況が見込まれる場合には、その時点で必要な対策を検討し、着実な整備を図ってまいりたいと考えております。

(問) 子ども・子育て支援の強化のなかで、私立幼稚園の新制度移行を促すため、もつと強力な支援制度が必要ではないか。また、放課後児童クラブの受け入れ拡大を早期に実施すべきである。

(答弁) 子供未来局長 国におきましては、消費税の引き上げが見送られた中でも、必要な財源を確保し、職員の処遇改善をはじめ「質の改善」に予定どおり取り組むこととし、本市といたしましては、国の支援策を活用しつつ独自の財政支援も行いながら、幼稚園が培ってきた人材やノウハウを生かした幼児期の教育・保育の提供がなされる環境を整備してまいります。児童クラブについては、現在、サテライトの整備など、受入対策を急いでおりますが、その開設場所や人材の確保など、様々な課題があり、各自自治体ともその対応に困難を抱えているところであります。こうした実態を踏まえ、国も自治体に対する各種の支援策を講じ、5年の事業計画期間内に、潜在的な需要も含めた量の見込みの確保方を定めるよう求めているところです。本市といたしましては、早期の受入拡大は必要と考えており、国の集中計画期間を1年前倒して、着実な受入れ拡大を図ってま

いる所存です。

この他、集中復興期間以後まで延伸される事業への対応、経済成長デザインと街づくり、小規模企業の振興策、農業振興策、交通事情の経営改善、ガスの事業の民営化などについて質疑いたしました。

《決算等審査特別委員会》

第一回定例会予算等審査特別委員会が2月19日から3月5日まで開かれました。私は、総務費と歳入の項目について質疑に立ちました。要旨については以下のとおりであります。



(問) このたびの青葉区選管の不適正処理について、庁内全体との問題として組織風土、仕事の環境、これらの改善をいかに進めるのか示されたい。

(答弁) 奥山市長 このたびの選挙における事案を通して、関係法令にのっとってまず正確に職務を遂行するということが第一であると、こうした公務員としての本場に基本中の基本というべき姿勢、また、問題が生じた場合には組織内でまずその問題をしっかりと正しく、業務の遂行上は不都合が生じているということと共有するという姿勢、そのことがなされなかったというのは大変私としても残念でもあり、また遺憾でもある事態だと思っております。

そうした基本をしっかりと徹底するよう組織の末端まで浸透させていくように取り組んでいく。新年度早々から設ける予定であるコンプライアンス専任職の組織の働きも高め、全庁的な風土の定着に向けてとめていきたい。

(問) 国の地方交付税の算定について、子育て世代支援の重視、高齢者対策、地域経済の活性化と雇用

の創生といった施策に力点を置いている自治体に配分するよう、国に求めるべきである。

(答弁) 奥山市長 地方交付税等をはじめとする地方財政対策の現状が大きく地方自治体にとってある種不利益となるような方向に動こうとしているのは、鈴木勇治議員と同じ危機感を共有するものである。中略。現在、政令都市市長会としても発言力を強化する中で行財政の取り組みを強化したいと考えている。指定都市独自の状況を地方の課題とともに訴えかけ、国政の中でも理解者を増やし、制度改正の実現に結び付けていきたい。

生活困窮者への支援制度が始まりました！

生活困窮者自立支援法により生活保護に至る前の経済的に困窮している方を対象とした各種の自立支援策が4月より全市にわたり実施となります。自立相談・自立支援プランの作成・就業支援や住居確保の他、多重債務の解決相談窓口等です。自立支援センター わんすてつぷ

022-3958865 (9時～16時)

あなたの声をお聞かせ下さい！

電話一本出前市政

市民の皆様からのご意見・ご要望こそが議員活動の原動力であります。鈴木ゆうじと話をしてみたい、考えを聞いてみたいとのご要望をお持ちの方は是非ご一報下さい。お待ちしております。

(連絡先) 仙台市太白区鉤取本町1-14-32 TEL 244-7308
仙台市太白区向山1-18-8 TEL 223-9393

鈴木ゆうじの活動記録



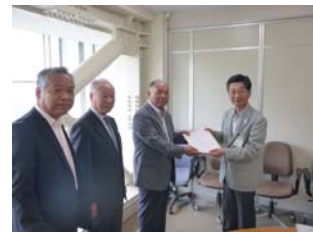
パークゴルフ協会の皆さんと副市長へ陳情



坪沼神社奉納



261019 区民まつりに出席



「ひより台大橋」の命名附設を要望



愛宕中学区への市民センター設置の陳情



やるっちゃ坪沼の収穫祭であいさつ



ひより台地区での市道拡幅に尽力



パークゴルフ場の適地を愛好者の方々と調査



向山経ヶ峯親交会の防災訓練に参加



県道仙台山寺線の拡幅要望へ立会い



完成真近かの都市計画道路川内旗立線



鉤取新田地区での下水道管布設の調査



少年野球太白リーグ春季大会で祝辞



山田北前町地区での市政報告会



向山体振主催の学区民運動会に参加



向山小付近の通学路の安全確保に尽力



第5回しいたけの森づくりに参加



仙台市武術太極拳のふれあいまつりで会長あいさつ



生出コミュニティまつりに出席



上野山小付近の通学路の安全確保に尽力



平成27年1月市政報告会での様子



富田地区での市政報告会



南赤石地区での市道改修が一部完了



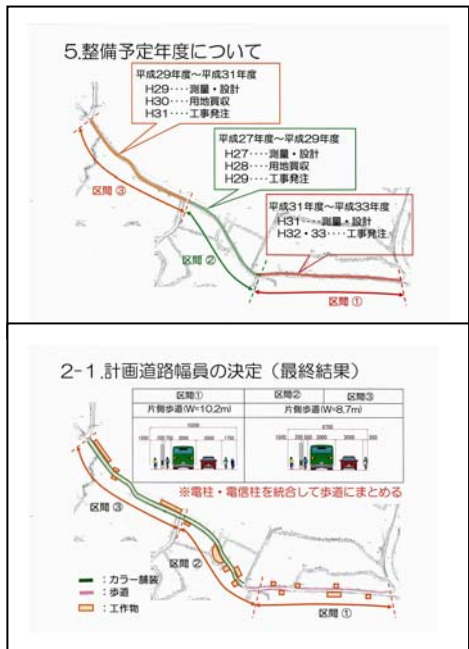
坪沼地区まちづくりへの協力要望

☆都市計画道路



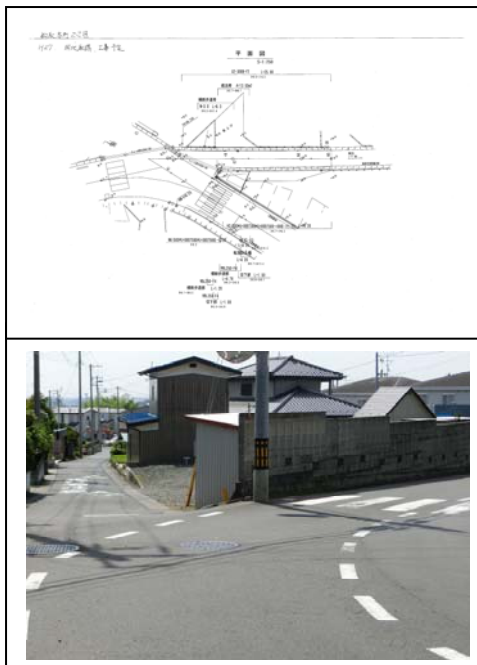
地下鉄東西線のアクセス道路として都市計画道路川内旗立線（ひより台工区）と同郡山折立線（鉤取工区）は、今年1月に完成予定です。周辺地区の人・車の流れは大きく変わると考えます。八木山動物公園駅のパークアンドライドの効果も大きく期待されると思います。

☆向山1号線道路改良

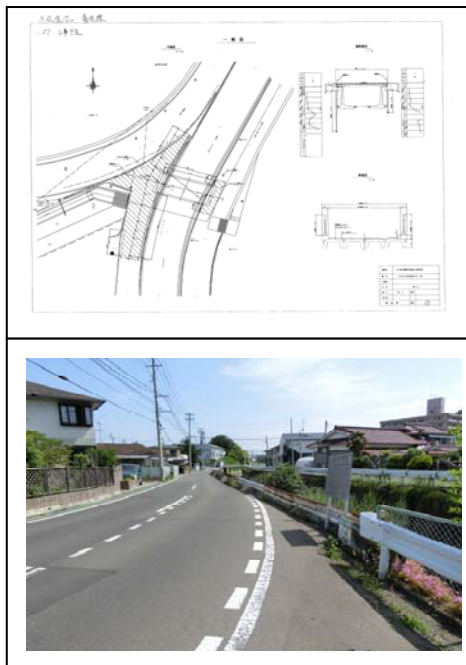


都市計画道路向山常盤丁線（向山地区）の計画が消滅したことから、代替策として進めてきた市道向山1号の拡幅と安全性向上策について、平成27年度から動き出すことになりました。

☆上野山地区



☆富田



☆坪沼地区



☆その他、太白区内の道路に関する事項

坪沼地区の中沖北線（上図）と九九田沢口線（下図）の拡幅整備工事は平成27年度中に実施されます。

- 1 茂庭台・生出地区における道路アクセス改善
 - ① 県道仙台村田線・馬越石トンネルには歩道が整備されておらず、歩行者の安全確保、車両通行円滑化の対策が必要である。市内の全てのトンネルの健全度等の調査を今年度実施する。
 - ② 地下鉄東西線八木山動物公園駅とのアクセス 地下鉄東西線開業に合わせ、国道286号（鉤取 北日本電線（株）前）と八木山南団地を結ぶ都市計画道路郡山折立線の供用を行う。
- 2 県道山寺仙台線 鷹巣工区における道路防災工事

野尻地区への唯一の道路である県道仙台山寺線の鷹巣地区では道路法面の防災工事が必要な状況であり、今年度秋保総合支所で詳細設計を行う。
- 3 向山地区の鹿落坂の拡幅

同区間は、歩行者及び自転車の安全な通行のために拡幅が必要である。これまでの調査では、現在の橋梁箇所について大きな損傷等は見られないが、施設の長寿命化と拡幅整備について、比較検討を行う。

市道上野山線（右図）と市道西多賀病院線（左図）の交差点及び富田線の歩行者安全性の確保策はそれぞれ今年度中に工事が実施されます。子どもはもちろんのこと高齢者にもやさしい街づくりが区内各地域で進んでいます。